

報道部震災特集

報道部では各号にて、2011年3月11日に発生した東日本大震災に関する特集を組んでいます。
河北新報社などと協力しながら、復興の様子や震災に関する研究を紹介しています。

動画でふりかえる3.11

4月号では、災害科学国際研究所の佐藤翔助教が開発した東日本大震災の被害状況を映像でたどる動画検索システム「動画で振り返る3・11—東日本大震災公開動画ファイダー—」について佐藤助教に話を伺いました。

佐藤助教は、インターネット上の動画と位置情報とを結びつけることで、情報としての価値を高めることができるとして、本システムの意義を語りました。このシステムにより、インターネット上の震災動画が、避難計画作成や防災事業等に有効活用されることが期待されます。



飯舘村

2011年3月に発生した東日本大震災から6年。報道部では今年3月に避難指示が解除された福島県飯舘村にて取材を行いました。

飯舘村に帰村した菅野義人さん、菅野啓一さん、佐野ハツノさんの3人に復興への想いを伺いました。



防災教育室

全国の新聞社の中で唯一「防災」を掲げた河北新報社「防災・教育室」。「東北大新聞」4月号で取り上げました。

被災地に根差した「狭く深く」の防災啓発とワークショップ「むすび塾」を通じた震災伝承を担い、被災地からの「役立つ報道」に取り組みます。

「災害犠牲を繰り返さないことが、被災地新聞社の責務」と武田真一室長。求められる防災報道と全国に防災の輪を広げる試行錯誤を今後も続けていきます。



学友会費納入のお願い 学友会は皆さんの会費で支えられていますので、学友会費の納入にご協力をお願いします。

問い合わせ先 **022-795-3983** (活動支援係:教育・学生総合支援センター1階2番窓口)



学友会ホームページ：
トップページから「教育・学生支援」→「学友会・サークル」の順にリンクをたどってください。



第21号

東北大学

No. **21**
GAKUYUKAI
平成29年7月18日発行

学友会

学友会の活動・運営をお知らせする広報紙

題字: 書道部 遠藤 俊太郎
(平成23年度卒)

P.1 Spring Festival 開催!! ●Spring Festival 開催!!	P.2 注目部員特集 ●準硬式野球部 ●演劇部	P.3 七大戦意気込み ●卓球部 ●女子ラクロス部	P.4 報道部震災特集 ●動画でふりかえる3.11 ●飯舘村 ●防災教育室
--	--------------------------------------	--	---

Spring Festival 開催!!

Spring Festivalが4月15日に本学川内北キャンパスにて開催されました。当日は昼間に雨が降るとい恵まれず、多くの新入生が来場し、にぎわいを見せました。



実行委員長 山下 航希 さん

土曜日という日程や天候に恵まれず中にもかかわらず多くの新入生に参加していただき、本当にありがとうございました。

今回の企画が新入生の皆さんにとって、これからの大学生活をより彩り豊かにしていくことの助けになっていただければ、実行委員会として大変嬉しいです。

最後に、新入生の皆さんの大学生活が盛り多きものになりますようお願いしております。

学友会報道部が全ページを編集しています!

学友会

本学全ての学生・教職員が会員となり、サークル活動、大学祭、新入生歓迎行事、教職員スポーツ大会などに対する支援を行っています。

この広報紙は皆さまの学友会費により作製されています。

注目部員特集



4月から多くの新入生が本学学友会の部活に入部し、各部活が体制を新たにしました。そこで今回は「注目部員特集」と題して、準硬式野球部と演劇部の注目部員を紹介します。



準硬式野球部



野球は小学生の時から続けています。今のチーム内でのポジションはピッチャーです。入学後すぐにリーグ戦に出させてもらって、貴重な経験をさせていただいています。自慢の変化球を活かして、チームから信頼される選手になれるように頑張っていきたいです。

小間 大世 さん



演劇部



私は「役を演じる」ことに興味があり大学入学と同時に演劇を始めました。舞台には2度出演し、4月の新入生歓迎公演「赤鬼」では物語のシンボルである赤鬼役をいただくことができました。体全部を使って演じる感覚を掴んだことで役者としての成長を実感しています。先輩を見て学んだことを活かし後輩の良い手本になれるよう、これからも頑張っていきたいです。

吉田 広人 さん



七大学戦意気込み

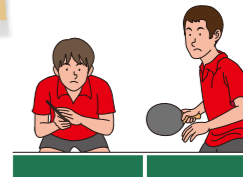


今年も全国七大学総合体育大会（通称：七大学戦）が開催されました。前回の七大学戦、本学は3位という結果に終わっています。今回は2年ぶりの優勝に燃える各部活に意気込みを聞きました。



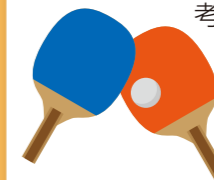
卓球部

学友会卓球部はインターカレッジベスト32を目標にして、片平キャンパスの体育館で活動しています。



去年の七大学戦は大阪大学に敗れ2位でしたが、技術的には優勝できる実力はあったと思っています。大切なのはチームとして技術的に上の層も下の層も実力を底上げし、刺激の多い環境にすることだと考えています。

「良い選手が良いチームを作るのではなく、良いチームが良い選手を作る」と考えているので、刺激の多い環境でチーム全体の実力の底上げをしていきたいと思っています。



女子ラクロス部

学友会女子ラクロス部の今年の目標は「関西突破」です。七大学戦では一戦一戦手を抜かずに、全勝することを目指しています。



昨年は技術力の高い部員が引っ張っていくチームでしたが、今年はチーム力の向上に力を入れ、部員一人ひとりがチームに貢献できることを意識しています。

一戦一戦手を抜かず、部一丸となって七大学戦に臨みます。

